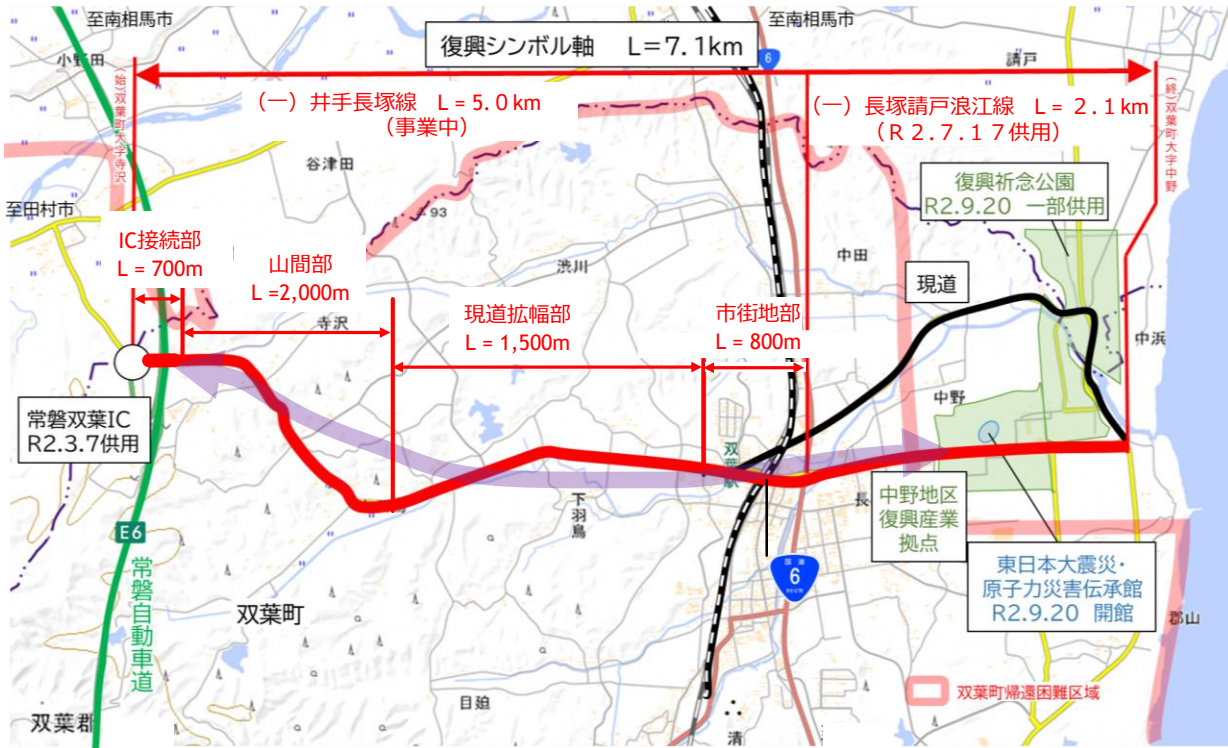


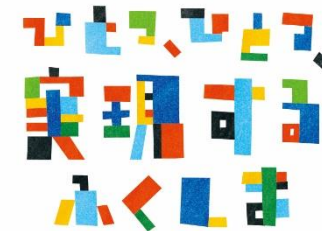
◆事業位置図



県道井手長塚線 県道長塚請戸浪江線 【復興シンボル軸】



令和5年5月撮影



福島県相双建設事務所

令和5年5月19日

①常磐双葉IC付近



②現道拡幅部



③市街地部



④(仮称)長塚跨線橋付近



⑤大門橋付近



⑥中野地区復興産業拠点付近



福島県相双建設事務所 復旧・復興部 道路・橋梁課
事業部 道路課
〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町1丁目30番地
TEL 0244-26-1247 FAX 0244-26-1197



◆事業の概要

「復興シンボル軸」は、常磐自動車道に新たに整備された常磐双葉ICからJR双葉駅周辺の市街地部を經由し、県道広野小高線に至る延長7.1kmの道路です。

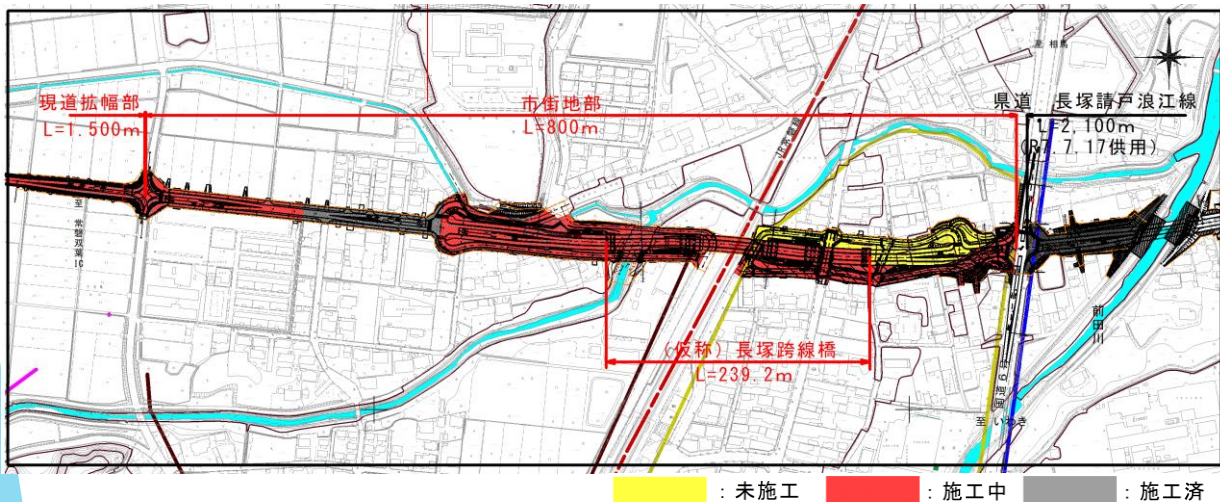
本道路は、JR双葉駅周辺の特定復興再生拠点区域における「新たな生活の場」の確保や「既成市街地の再生」の推進、また、中野地区復興産業拠点の「新たな産業・雇用の場」の創出、さらに、福島県復興祈念公園の「追悼と鎮魂、後世への伝承、強い意志の発信」の場の創出など、魅力ある町の再興を支援する基幹的な道路です。

□ 事業名 :	福島再生加速化交付金(帰還環境整備)事業 他			
□ 事業区間 :	双葉郡双葉町大字寺沢地内～双葉郡双葉町大字中野地内			
□ 事業期間 :	平成28年度～令和7年度(予定)			
□ 事業延長 :	L=7,100m (バイパス部 L=2,900m)			
	バイパス部		現道拡幅部	
□ 幅員 :	W=14.0m	車線数2車線	W=8.0m	車線数2車線
□ 道路規格 :	第4種2級	設計速度V=50km/h	第3種3級	設計速度V=50km/h

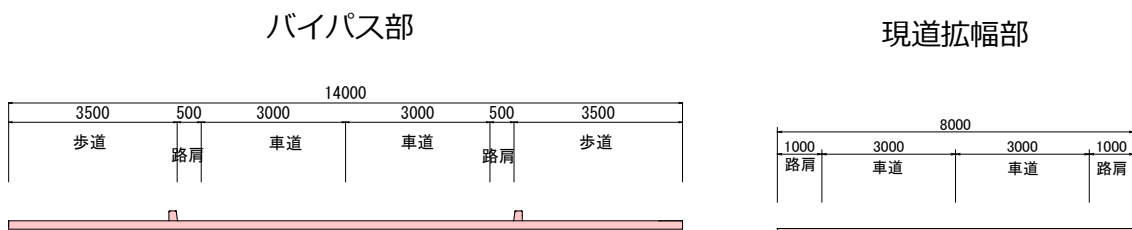
◆計画(市街地部)概要

バイパス部は、双葉郡双葉町大字長塚地内から大字中野地内までの延長2.9kmの区間を「3・5・6号 長塚中野復興シンボルロード」として都市計画決定しています。

平面図



標準横断面図



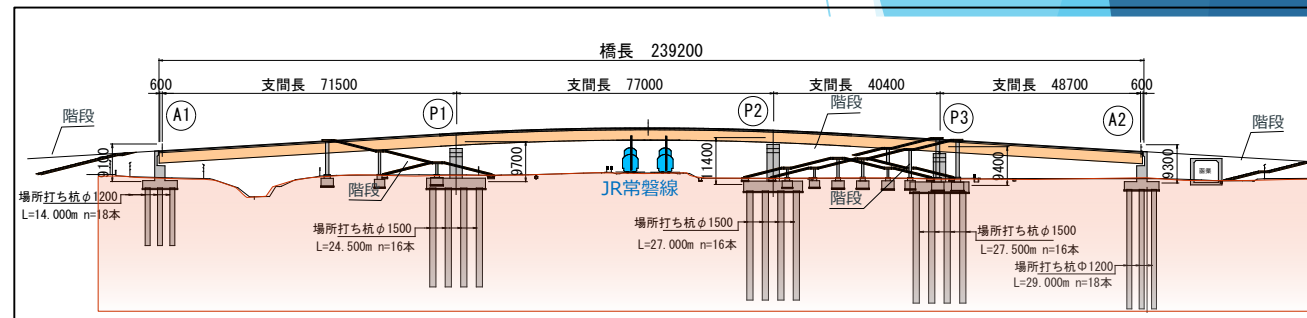
◆事業の経緯

- H27.6.12 : (仮称)双葉IC連結許可。
- H28.4 : 県道井手長塚線を県事業として、町道久保前・中浜線外を町事業として採択。
- H29.4 : 町道久保前・中浜線外を県道長塚請戸浪江線に読替えて県事業化。
- H29.9.15 : 双葉町・特定復興再生拠点区域復興再生計画認定。
- R2.3.7 : 常磐双葉IC 開通
- R2.7.17 : 長塚請戸浪江線(L=2.1km) 供用
- R4.8.30 : 一部帰還困難区域解除

◆主要構造物

(仮称)長塚跨線橋側面図

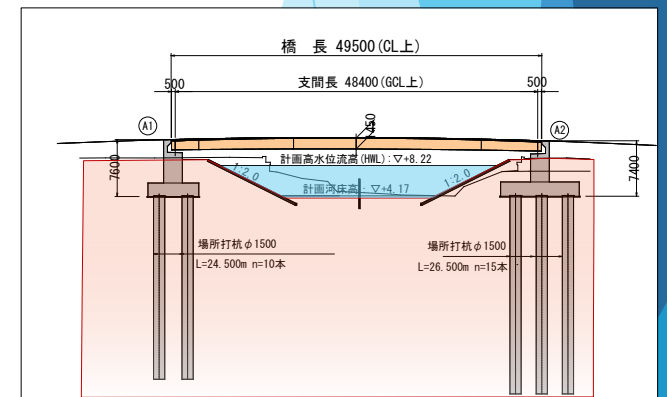
- 【上部工】 橋長 : 239.2m
- 橋梁形式 : 鋼4径間連続非合成箱桁橋
- 架設工法 : 送出し工法、クレーン架設工法
- 【下部工】 橋台形式 : 逆T式橋台 2基、壁式橋脚 3基
- 基礎形式 : 場所打ち杭基礎 (φ1200~1500)



JR常磐線に架かる(仮称)長塚跨線橋は、駅周辺の歩行者・自転車の円滑な通行を確保するため、斜路付き階段を5箇所設置し、JR双葉駅東西を移動しやすくします。

大門橋側面図

- 【上部工】 橋長 : 49.5m 橋梁形式 : PC単純バイプレ桁橋
- 架設工法 : 架設桁架設工法
- 【下部工】 橋台形式 : 逆T式橋台 2基 基礎形式 : 場所打ち杭基礎 (φ1500)



大門橋は、周辺環境への影響を考慮し、桁高が低い単純PCバイプレ桁橋を採用しています。

◆一体施工について

双葉町の特定復興再生拠点区域内の復興シンボル軸は、環境省と県が連携し除染・解体と道路整備を一体的かつ効率的に施工することにより工期の短縮等を図っています。